

## 第三十一回川柳の会」(つばやまの会)

場所 西花苑コミュニティ集会室

講師 桜井 亮先生指導

日時 一月十一(木) 一四時～十六時

定員 十五名(会員募集中) 雑詠 五句投句持参のこと  
投句(短冊に書く) 浄書(きれいに書く)  
選句(自分の投句を外す) 披講(選んだ理由を発表)

○投票で 一席・二席・三席決定  
二席(三点句)

○バスの中 昼間は老人専用車。

○老い方の見本見るよな クラス会。

○同窓会今は何とかクラス会。

○隠し酒舌がもつれてはれちゃった。

○友も減り金も減ったが口へらず。

二席(二点句)

○医療費が酒代よりも高くつく。

○ほけたふりホチホチ本気に受けとられ。

三席(一点句)

○紅葉に捲けじと酒飲み赤い顔。

○褒められる度に上がって最高賞。

○食事処味よりなによりまずスマホ。  
○言いもの身体に悪いと手抜きめし。  
○ここにも無いさてどうしよう毎度です。  
○老人にや理解不能の流行語。  
○日は沈む今からスーパー半額に。  
○テパ地下を廻り獅子試食で友と会い。  
○棋士驚愕人工知能と中学生。  
○なにしても本気でやるとおもしろい。  
○予期はずれ予防注射の薬不足。  
○朝冷えて猫が布団にもぐりこむ。  
○真つ暗な貨車で拾った人の情。  
無点句

○カラオケ採点俺の歌唱否定する。  
○あの世への道この辺でいいかしら。  
○イルミネーション走るがこごとく夜流れ。  
○横綱の暴行話ばかりです。  
○平成の波乱万丈三十年。  
○カアチャンと確かめ合って薬飲む。  
○延命いらすと書いて医者通い。  
○花火でも核のはなびはやめてくれ。  
○窓ガラス息吹きかけて告白し。  
○注意する看護婦にらむスマホママ。  
○終活はひとまず置いてよく食べて。  
○溪谷や落葉乗せて秋流れ。

十一月七日 川柳の会での投句です。」